平成27年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人　魚津市社会福祉協議会

平成27年度　事業報告

少子高齢化の進行や人口の減少、核家族化や働き方などの生活様式の変化に伴い、地域社会や家庭環境が大きく変わり、身近な交流やコミュニケーションの希薄化が進んでいます。また、経済的困窮やひきこもり、孤立、権利侵害、振り込め詐欺等の被害など、従来の福祉制度の枠組みでは解決できない多様で深刻な課題が増加しています。

こうした状況の中、「誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざす魚津市社会福祉協議会は、今日の地域福祉の課題を受け止めその解決に向けて、社協内の連携はもちろん、地域住民や福祉関係団体、行政等と協働しながら各種事業や活動の推進に努めました。
また、介護サービス事業者として多様化するニーズに対応した質の高いサービスの提供と法人経営の安定化に向けて積極的に取り組みました。

【重点目標】

１　法人経営の安定化と自立、財政の効率化と透明化
２　地域協働による地域福祉の推進
３　福祉総合相談支援体制の充実
４　介護保険事業者として質の高いサービスの提供と効率的な運営

地域福祉拠点　（決算額　159,364,598円）

１　法人運営事業（決算額　111,325,100円）

⑴法人運営事業（決算額　39,938,240円）

【重点目標】

○新会計基準に基づく適正な会計処理の実施
○人材育成方針に基づく職員研修の実施
○人材確保を含めた人事管理、労務衛生管理の徹底

【主な取組み等】

①理事会、評議員会等の開催状況

・各種事業を効果的に推進するため、経営執行機関としての理事会、議決機関である評議員会を活性化し、法人組織運営体制の強化に努めました。

【理事会】

開催年月日	出席者	議決事項等
平成27年４月１日(水)	14人	議案第10号　評議員の委嘱同意について（文書審議）
平成27年４月27日(月)	12人	議案第11号　顧問の委嘱同意について 議案第12号　評議員の委嘱同意について 報告事項　施設整備検討委員会の検討結果について
平成27年５月28日(木)	13人	議案第13号　平成26年度事業報告について 議案第14号　平成26年度一般会計収支決算報告について 協議事項　施設整備検討案について
平成27年６月26日(金)	11人	議案第15号　平成27年度魚津市社会福祉協議会会長被表彰者等の決定について 議案第16号　平成27年度善意のともしび助成事業に係る助成額等の決定について 協議事項　施設整備検討案について
平成27年７月16日(金)	15人	議案第17号　評議員の委嘱同意について（文書審議）
平成27年11月10日(火)	12人	議案第18号　魚津善意銀行事業　善意のともしび助成規程の一部改正について 議案第19号　平成27年度資金収支第１次補正予算について
平成28年２月10日(水)	14人	議案第１号　特定個人情報等取扱規程の制定について 議案第２号　職員給与規程の一部改正について

平成28年３月16日(水)	13人	議案第３号　平成28年度事業計画について 議案第４号　平成28年度資金収支当初予算について 議案第５号　平成27年度資金収支第２次補正予算について 報告事項　　平成28年度職員配置について

【監査会】

開催年月日	出席者	監査内容
平成27年５月18日(月)	２人	平成26年度事業実施状況について 平成26年度一般会計収支決算状況について
平成27年７月８日(水)	１人	監事による社協施設実地調査

【評議員会】

開催年月日	出席者	議決事項等
平成27年４月１日(水)	29人	議案第４号　理事の選任について（文書審議）
平成27年４月27日(月)	25人	議案第５号　理事の選任について 議案第６号　任期満了に伴う理事及び監事の選任について 報告事項　　施設整備検討委員会の検討結果について
平成27年５月28日(木)	29人	議案第７号　平成26年度事業報告について 議案第８号　平成26年度一般会計収支決算報告について 協議事項　　施設整備検討案について
平成27年７月15日(水)	21人	協議事項　　施設整備案について
平成27年11月10日(火)	21人	議案第９号　平成27年度資金収支第１次補正予算について
平成28年３月16日(水)	27人	議案第１号　平成28年度事業計画について 議案第２号　平成28年度資金収支当初予算について 議案第３号　平成27年度資金収支第２次補正予算について 報告事項　　平成28年度職員配置について

②新会計基準システムへの移行

・各事業所にシステム(クラウド)を導入し、データを随時システムにより集計し、法人全体の財務状況を的確・迅速に把握できるようになり、会計処理の効率化につながりました。

③職員研修の実施状況

・職員の資質向上と課題に的確に対応できるよう、富山県福祉カレッジ主催の研修に参加し、高い専門性を備えた福祉人材の養成に努めました。また、正職員・契約職員を対象に１日職場体験研修を企画・実施し、社協内の様々な事業について相互理解を深め、事業所間・職員間の交流を図りました。

【富山県福祉カレッジ主催の主な研修】

研修名	開催日	内　容
新任職員接遇研修	平成27年４月22日(水)	福祉職場における接遇・マナーの重要性等
新任職員研修	平成27年９月24日(木)	社会福祉協議会の基本理念と職員に求められるもの
職場研修ステップアップ研修	平成27年10月20日(火) ～21日(水)	職場研修の上手な推進方法 OJT の効果的な進め方等
福祉サービス苦情解決研修	平成27年10月27日(火)	苦情対応に求められる事業所の姿勢と苦情解決のあり方等
コミュニティソーシャルワーク実践者フォローアップ研修	平成28年２月13日(土)	地域福祉活動の中核を担う市町村社協職員及び専門機関職員の資質向上等

【社協主催の研修】

研修名	開催日	対象者
市社協組織・事業基礎研修	平成27年４月７日(火)	新規採用職員
施設見学研修	平成27年４月14日(火)	〃
事業所体験研修	平成27年４月17日(金)	〃
１日職場体験研修	平成27年９月14日(月) ～10月30日(金)	正職員・契約職員

④社協会費の納入状況

・社協会費は、市民の皆様の地域福祉への理解と社会福祉協議会の事業への賛同のもと、１戸あたり300円を納入いただきました。社会福祉協議会の貴重な財源であり、地域に向けて様々な福祉活動を展開することで市民の皆様に還元しました。

【納入実績】

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
納入額(戸数)	3,728,700円(12,429戸)	3,735,600円(12,452戸)	△6,900円(△23戸)

⑵社会福祉事業振興基金運営事業（決算額　26,460,472円）

【重点目標】

○元本安全性の確保、運用収益の最大化を踏まえた運用

【主な取組み等】

・平成27年度末の積立額は180,000千円となり、利付国債及び定期預金で運用しました。

種　類	利率	額面(円)	購入単価(円)	金額(円)	償還日・満期日
利付国債(20年)第144回	1.50%	77,000,000	98.682	75,985,140	平成45年3月20日
利付国債(30年)第10回	1.10%	23,000,000	95.904	22,057,920	平成45年3月20日
定　期　預　金　①	0.07%	－	－	75,000,000	平成29年3月31日
定　期　預　金　②	0.02%	－	－	6,956,940	平成29年3月24日
合　計				180,000,000	

⑶地域包括支援センター介護予防支援事業（決算額　19,055,760円）

【重点目標】

○社協が実施する事業との連携

【主な取組み等】

・社協職員４人(介護支援専門員３人・社会福祉士１人)が市地域包括支援センターに出向し、指定介護予防支援事業(要支援１・２のケアプラン作成、給付管理)や特定高齢者に対する予防プラン作成など、要介護状態にならない予防対策業務を行いました。また、社協内の関連部署と要支援者などの情報交換を行い、連携を図りました。

⑷介護認定調査受託事業（決算額　6,595,287円）

【重点目標】

○公平公正で客観的かつ正確な認定調査の実施

○認定調査の方法や選択基準等の十分な理解と面接技術等の向上

【主な取組み等】

・社協職員３人が市に出向し、介護認定調査員として要介護認定申請者の自宅や入所中の施設、入院中の病院を訪問し、調査項目に従い心身の状態についての聞き取り、確認による調査票のまとめ等を行いました。

⑸退職共済積立事業（決算額　18,726,140円）

【重点目標】

○退職手当積立基金の財政及び今後の資産運用状況の把握

【主な取組み等】

・正職員53人分の掛金納付や退職年金受給者１人分(いずれも５・８・11・２月)の手続を行うとともに、全社協からの退職手当積立基金加入状況、資産運用状況等の報告を注視しました。

⑹社協施設整備検討事業（決算額　549,201円）

【重点目標】

○各事業所の具体的な問題点、サービスの内容と質及び組織マネジメント等の把握

○事業戦略や財務運営等に対する考え方や目標の明確化

【主な取組み等】

・昨年度に引き続き、施設整備検討を行いました。

・中期経営計画(計画期間：平成29年度～平成33年度の５年間)の策定に取り掛かり、策定に関連して富山県福祉サービス第三者評価を受審し、身障者デイは10月19日、東部デイは10月29日に調査員が各施設を訪問調査しました。

【施設整備検討の状況】

開催日	内　容	検討・協議事項等
平成27年 ４月20日(月)	第11回施設整備検討委員会の開催	・次の５案で検討した結果、最終的に３案に絞り、理事会及び評議員会に報告・協議してもらうことを決定した。 ①魚津市在宅支援・健康プラザ(仮称)への移転【市の提案】 ②健康センター跡地に移転 ③百楽荘跡地に新築 ④魚津市在宅支援・健康プラザ(仮称)と健康センター跡地に分離型移転 ⑤小学校跡地に移転 【絞った３案】 第１案　魚津市在宅支援・健康プラザ(仮称)への移転 第２案　百楽荘跡地に新築 第３案　小学校跡地に移転
平成27年 ４月27日(月)	理事会及び評議員会での検討	・これまでの施設整備検討委員会の検討内容の報告とともに、絞った３案についての説明・協議を行った。
平成27年 ５月28日(木)	理事会及び評議員会での検討	・第１案の魚津市在宅支援・健康プラザ(仮称)について市への回答期限もあり、重点的に協議を行った。
平成27年 ６月26日(金)	理事会に新たな提案	・「第１案の魚津市在宅支援・健康プラザ(仮称)には入居せず、当分の間、事務局(総務課・地域福祉課)、福祉総合相談支援センターは健康センター跡地に入居、ヘルパーステーションは身障デイ、居宅介護支援事業所は東部デイの空きスペースにそれぞれ入居する」との新たな提案を行い、理事会で同意を得た。併せて、市社協の今後の事業計画や中期経営計画も含め、地域住民ニーズや関係団体等の意見を聞きながら、どのような事務所・施設にすべきかを第２案や第３案も視野に入れながら、更に時間をかけて検討することとした。
平成27年 ７月15日(水)	評議員会に新たな提案	・上記の新たな提案を行い、評議員会で同意を得た。
平成27年 ７月21日(火)	市へ社会福祉協議会施設整備の要望書の提出	・第１案の魚津市在宅支援・健康プラザ(仮称)へ入居しないと回答するとともに、「当分の間、福祉センター百楽荘廃止後の事務局(総務課・地域福祉課)、福祉総合相談支援センターは健康センター跡地に入居し、福祉センター機能を持った高齢者の介護予防と交流の場として活用し、建物管理と介護予防事業を受託させてほしい」との要望書を提出した。

【中期経営計画策定の途中経過】

開催日	委員会等	内　容
平成27年 10月１日(木)	第１回策定委員会	・委員の紹介、委員長の選出及び副委員長の指名について ・策定の趣旨、計画の構成等、策定スケジュールについて
平成28年 １月５日(火)	作業部会	・SWOT 分析による課題の整理 (法人運営部門、地域福祉活動推進部門、指定管理運営部門)
平成28年 １月14日(木)	作業部会	・SWOT 分析による課題の整理 (福祉サービス利用支援部門、在宅福祉サービス部門)
平成28年 １月19日(火)	作業部会	・SWOT 分析による課題の整理 (福祉サービス利用支援部門)
平成28年 １月21日(木)	作業部会	・SWOT 分析による課題の整理、最終確認 (法人運営部門、地域福祉活動推進部門、指定管理運営部門)
平成28年 １月26日(火)	作業部会	・SWOT 分析による課題の整理、最終確認 (福祉サービス利用支援部門、在宅福祉サービス部門)
平成28年 １月27日(水)	第２回策定委員会	・各部門の現状について（SWOT 分析の結果） ・意見交換、今後の作業の進め方について
平成28年 ３月22日(火)	作業部会	・各部門における重点目標の検討

２　魚津善意銀行事業（決算額　16,786,524円）

【重点目標】

○寄附金が年々減少傾向にあるため、広報誌等での寄附の趣旨や使い道のＰＲ

【主な取組み等】

・市内商業施設や企業、学校等での愛の募金箱・パンフレットの設置
・ともしび助成事業による地区社協やボランティア活動を行う団体等への活動助成
・災害見舞金の支給、災害等支援準備金の適正な管理

①寄附金の実績

区　分	平成27年度		平成26年度		増　減	
一般寄附	154件	5,181,730円	148件	3,442,277円	6件	1,739,453円
指定寄附	9件	2,450,000円	15件	1,010,000円	△6件	1,440,000円
合　計	**163件**	**7,631,730円**	**163件**	**4,452,277円**	**0件**	**3,179,453円**

②善意のともしび助成事業

・善意銀行の寄附金を活用し、市内でボランティア活動を行う団体やＮＰＯ法人、地区社会福祉協議会等が行う草の根的な社会貢献活動に助成を行いました。

助成団体	助成事業	助成額
おはなしの会おとぎの森	年間を通しての読み聞かせ・人形劇・ワークショップ等事業	100,000円
西布施地区社会福祉協議会	「西布施の日」小学校閉校事業学校開放と同時開催	60,000円
下中島地区社会福祉協議会	わが町の玄関口西魚津駅をきれいにしよう！おもてなし大作戦	80,000円
ハニーオーシャンズ	芸能ボランティア事業	100,000円
まどかの会	障がい者の理解者拡大広報事業	40,000円
青空児童クラブ	納涼夏祭り・みこし巡回事業	25,000円
	合　計	**405,000円**

③災害見舞金の支給

・市内で発生した火災の被災世帯に対し災害見舞金支給規程により、見舞金を支給しました。

発生日	被害の状況	被害場所	世帯数	支給金額(円)
平成27年10月２日(金)	住宅半焼	魚津市中央通り	1	30,000

３ 地域福祉・ボランティア事業（決算額　34,842,925円）

⑴見守りネットワーク推進事業（決算額　2,700,000円）

【重点目標】

○地域住民による見守り活動の支援
○地域の支え合い体制の整備

【主な取組み等】

・見守り対象者数の増加に伴い、細やかな福祉推進員活動が求められている。５月には新任福祉推進員向けに研修会を実施し、福祉推進員の役割や活動内容について説明を行いました。
　また、各地区ではケース検討会を実施し、地域課題の共有化を図り、連携強化に努めました。

【活動実績】　（単位：人・回）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
福祉推進員数	312	312	0
地区ケース検討会開催回数	29	26	3

＜研修会の開催状況＞

平成27年度新任福祉推進員研修会
　日　時：平成27年５月13日(水)　19:00～20:30
　会　場：新川文化ホール　201会議室
　参加者：新任福祉推進員　40人

目　的：新任福祉推進員を対象に、魚津市の高齢者福祉の現状を伝えるとともに、福祉推進員の役割と活動の内容を周知して、円滑な活動を行うこと

内　容：講義　①「魚津市の高齢者福祉の現状および地域福祉の推進について」
②「福祉推進員の活動について」

平成27年度「くらしのあったか応援講座」の開催

日　時：平成28年２月６日(土)　13時30分～15時30分

会　場：新川文化ホール　201会議室

参加者：福祉推進員等　113人

目　的：地域住民が主体となった生活支援が必要とされる今日、福祉推進員をはじめとする住民を対象に、買い物に不便を感じている高齢者等の支援の必要性について理解を深めるとともに、今後の福祉推進員等の資質向上や意識啓発を図ることを目的に開催しました。

内　容：①講　義「今、なぜ地域の力が求められるのか」
講　師：富山大学人間発達学部准教授　野田　秀孝　氏
②住民の支え合いによる買い物支援の中間報告
進　行：富山大学人間発達学部准教授　野田　秀孝　氏
報告者：大町地区社会福祉協議会長　　鹿本　幸男　氏
片貝地区社会福祉協議会長　　澤崎　一雄　氏
西布施地区民生委員児童委員　谷崎　　貢　氏

⑵地域住民グループ活動支援事業（決算額　3,168,959円）

【重点目標】

○サロン数、サロン参加者の増加

○サロン代表者等の負担軽減のための支援

○サロン活動を通じた地域福祉活動、福祉教育の推進

【主な取組み等】

・小地域単位の高齢者の集いの場として、『ふれあい・いきいきサロン』が実施されており、閉じこもり予防、介護予防などに効果を発揮しています。研修会等を通して活動内容の情報提供やレクリエーション用具等の貸出しを行い、円滑に活動できるよう支援しました。

【活動実績】　（単位：ヶ所・人・回）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
サロン設置数	83	82	1
会員数	2,052	1,987	65
開催回数	1,050	816	234
参加者数	12,215	10,391	1,824

⑶地域総合福祉推進事業（決算額　5,879,976円）

【重点目標】

○小地域活動の充実及び地域の支え合いの体制づくり

【主な取組み等】

・買い物アンケート調査結果に基づく買い物支援モデル事業については、地域に合った支援として、大町地区で市場形式、片貝地区で移動注文販売形式、西布施地区で乗合買い物カー形式で実施しました。市社協は業者とのマッチングや体制づくりの構築、住民への周知や働きかけを支援しました。

・ケアネット活動等の個別ニーズに対して行政、関係機関と連携して取り組みました。

【買い物支援モデル事業の実績】　（単位：回・人）

区　分	平成27年度			平成26年度	増　減
	回　数	参加人数	応援隊人数	－	－
大町地区	8	320	102	－	－
片貝地区	16	189	80	－	－
西布施地区	5	24	30	－	－

【ケアネット活動実績】

区　分		平成27年度	平成26年度	増　減
実施地区数		13	13	0
チーム数		270	310	△40
チーム参加実人数		498	514	△16
対象人数(高齢者、身体障がい者、知的障がい者等)		270	310	△40
活動延べ回数		19,221	19,124	97
回数内訳	見守り・声かけ	16,250	16,263	△13
	話し相手	1,965	2,217	△252
	ゴミ出し	397	334	63
	買い物代行	396	47	349
	除雪	11	60	△49
	外出付添	51	33	18
	その他	151	170	△19

⑷地域福祉強化事業（決算額　13,747,420円）

【重点目標】

○福祉課題、福祉ニーズの調査・把握

○ケアネット活動の推進

○ボランティアセンターの機能強化

【主な取組み等】

・福祉活動専門員、ケアネット活動コーディネーター及びボランティア活動コーディネーターの３名の専門職を配置し、地域住民やボランティア、地区社協、民生委員児童委員及び行政等と連携した福祉課題の解決に取り組みました。

⑸障害者移送支援事業（決算額　4,403,970円）

【重点目標】

○障がい者(児)の社会復帰や自立生活実現を可能にするための移動手段の確保

【主な取組み等】

・利用決定者に対し医療機関等への送迎を行いました。なお、利用者からは余暇活動や買い物等に送迎車両を使用できないのか等の声も市役所に寄せられており、今後協議していくこととしました。

【運行実績】　（単位：人・回）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
実利用者数	22	22	0
延運行回数(片道)	493	473	20

⑹ひとり暮らし高齢者給食サービス事業（決算額　650,000円）

【重点目標】

○負担なく活動を継続できる支援体制の構築

【主な取組み等】

・３地区の調理ボランティアが月２回の実施日を決めて活発に活動を行いました。年２回調理ボランティアの活動を支援するため、献立に関する研修会を開催しました。

【利用実績】　（単位：回・食）

区　分	平成27年度		平成26年度		増　減	
	回数	食数	回数	食数	回数	食数
上中島	24	457	24	409	0	48
上野方	21	280	21	301	0	△21
経　田	24	661	24	669	0	△8
合　計	**69**	**1,398**	**69**	**1,379**	**0**	**19**

＜研修会の開催状況＞

第１回配食ボランティア研修会

日　時：平成27年６月19日(金)　９時30分～12時00分

会　場：魚津もくもくホール

講　師：富山県栄養士会　川淵　苓　氏

内　容：講　義「素材を活かしたアイデアレシピ」
　　調理実習（実際につくってみよう！）
参加者：24人参加（上中島８人、上野方８人、経田８人）

第２回配食ボランティア研修会
日　時：平成27年11月20日(金)　９時30分～12時00分
会　場：もくもくホール
講　師：富山県栄養士会　笠間　香奈美　氏
内　容：講　義「高齢者に適したお弁当のおかず～皆さまからのアンケートにお答えして～」
　　調理実習「実際につくってみよう！」
参加者：22人参加（上中島８人、上野方６人、経田８人）

⑺ファミリーサポートセンター事業（決算額　3,542,600円）

【重点目標】
○家族を支える相談、センター体制づくり
○会員の募集と事業のＰＲ
○〝子育て仲間〟が集うきっかけづくり

【主な取組み等】
・援助活動回数は月１回のペースとなりました。会員登録や相談件数も増加しました。預かり依頼に対してスムーズに提供会員(援助をしたい者)を紹介できる体制づくりに努めました。

【調整件数及び活動件数】　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
相互援助活動の調整件数	112	101	11
相互援助活動の実施件数	11	5	6

【援助実績】　（単位：人）

区　分		平成27年度	平成26年度	増　減
依頼会員(援助を受けたい者)		118	119	△1
提供会員(援助をしたい者)		22	21	1
上記の両方会員		3	1	2
区　分		平成27年度	平成26年度	増　減
援助活動実績	一時預かり支援	1	2	△1
	土日・祝日支援	2	0	2
	病児支援	0	0	0
	帰宅後支援(未就)	8	3	5
	帰宅後支援(学童)	0	0	0
	合　計	**11**	**5**	**6**

【子育てサポーター講習会】

日　時	会　場	内容等
第１回 平成27年９月25日(金) 10時30分～12時	つばめ児童センター	内　容：「手づくりおもちゃを作って遊ぼう」 講　師：おむすびくらぶ　田中　世津子　氏 参加者：協力会員等11人
第２回 平成27年10月９日(金) 10時30分～12時	市社協 第１会議室	内　容：「一時救命処置ＡＥＤの使い方について」 講　師：日本赤十字社富山県支部 　　幼児安全法指導員　小田嶋　芳子　氏 参加者：協力会員等11人
第３回 平成27年10月23日(金) 10時30分～12時30分	魚津もくもくホール	内　容：「子どもが喜ぶ！バランス弁当」 講　師：管理栄養士　平野　寛子　氏 参加者：協力会員等10人

【ファミサポ研修会】
日　時：平成28年２月15日(月)　10時30分
会　場：すずめ児童センター
内　容：「おはなしの会おとぎの森」の協力によるお話しの披露とワークショップ
　　会員相互の情報交換
参加者：協力会員等25人

⑻ボランティア活動事業

①ボランティアセンター運営事業（決算額　650,000円）

【重点目標】

○ボランティア活動人口の増員
○ボランティアセンターへの登録情報の整理
○ボランティアセンターと他団体との連携協力

【主な取組み等】

・新規ボランティア発掘のためのボランティア養成講座の開催やボランティア活動者のための講座を開催しました。講座を機に、新しいグループの誕生につながりました。また、ボランティア登録者の把握をしっかり行い、ボランティアとセンターとのパイプをより太いものにしていけるよう努めました。福祉教育プログラムについても、地域や学校等との連携を密に行い、福祉の理解と啓発を積極的に行いました。

＜研修会等の開催状況＞

第１回　傾聴ボランティア養成講座
　日　時：平成27年５月25日(月) 13時30分～15時30分
　会　場：新川文化ホール　201会議室
　講　師：富山国際大学子ども育成学部　教授　村上　満　氏
　参加者：45人

第２回　傾聴ボランティア養成講座
　日　時：平成27年６月８日(月) 13時30分～15時30分
　会　場：新川文化ホール　201会議室
　講　師：富山国際大学こども育成学部　教授　村上　満　氏
　参加者：40人

災害救援ボランティアリーダー研修会
　日　時：平成27年７月18日(土)　13時～16時
　会　場：新川文化ホール　201会議室
　講　師：ＮＰＯ法人　日本ＮＰＯセンター常務理事　田尻　佳史　氏
　　ＮＰＯ法人　明日育
　参加者：82人

24時間テレビチャリティー街頭募金活動
　日　時：平成27年８月23日(日)　11時～18時
　会　場：市内ショッピングセンター等　（募金実績　606,120円）
　参加者：ボランティア等126人

災害ボランティアセンター設置訓練
　日　時：平成27年９月６日(日)　８時30分～12時
　会　場：ありそドーム
　内　容：平成27年度富山県総合防災訓練に併せ、災害ボランティアセンター設置訓練を実施し、被災者ニーズの受付やボランティア活動者の受付と派遣調整、活動証明書発行等の業務と災害ボランティアセンター運営マニュアルの検証
　参加者：96人

【センター登録者数】　（単位：人）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
個人登録数	62	114	△52
団体登録数	90団体(3,749)	81団体(3,460)	9団体(289)
合　計	3,811	3,574	237

【相談内容別件数】　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰの利用に関するもの	61	14	47
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動情報に関するもの	543	327	216
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ講座・研修に関するもの	4	259	△255
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ保険に関するもの	96	375	△279
関係者・人材の紹介等に関するもの	60	394	△334

助成金等に関するもの	6	12	△6
寄附・寄贈に関するもの	5	96	△91
福祉ｻｰﾋﾞｽに関するもの	0	0	0
その他	518	13	505
合　計	1,293	1,490	△197

②福祉教育地域指定推進事業（決算額　100,000円）

【重点目標】

○地域に暮らす子どもたちだけでなく、大人も学べる場の形成
○他団体との連携を密にした地域の関係づくり
○福祉教育やボランティア活動が地域に根付くような取り組み

【主な取組み等】

・下中島地区社協を中心に、住吉小学校４年生と連携し「おもてなし大作戦！！わが町の玄関口西魚津駅をきれいにしよう！」と題し地鉄西魚津駅周辺の環境美化活動や清掃活動を実施しました。また、４年生27人が魚津水族館で泳ぐ魚を写生したものをラミネート化し、駅のホームに掲示しました。さらに、昨年度に引き続き加積地区社協から依頼を受け、夏休みの寺子屋教室を実施しました。

４ 総合福祉相談事業　（決算額　6,439,200円）

⑴総合福祉相談事業（決算額　240,000円）

【重点目標】

○福祉総合相談支援センターの機能充実
○他機関、関係団体、地域住民との連携強化

【主な取組み等】

・福祉総合相談支援センターに、心配ごと相談、身体的相談や就労に関する相談など、多種多様な相談が寄せられました。主な相談経路として、市役所や介護支援専門員等が多く、関係機関との連携を強化して相談員の資質・技術の向上に努めました。
・相談窓口の周知を継続的に行っていくことが大切であることから、民生委員をはじめ住民が相談しやすい環境整備に努めました。

【相談実績】　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
日常生活での心配ごと・悩みごと相談	260	145	115
日常生活自立支援事業に関する相談	14	45	△31
生活福祉資金貸付に関する相談	1,354	1,589	△235
ボランティアに関する相談	1,293	1,490	△197
合　計	2,921	3,269	△348

⑵日常生活自立支援事業（決算額　4,875,200円）

【重点目標】

○生活支援員登録者の増加
○行政等関係機関との連携強化

【主な取組み等】

・認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの判断能力が不十分な方が自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援を行いました。利用者の増加に伴い、生活支援員による定期訪問も増えたことから、生活支援員を新たに確保しました。
また、生活支援員のフォローアップ研修会を開催し、資質向上と生活支援員同士の相互交流を行いました。

【援助実績】　（単位：人・件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
実利用者数	48	47	1
生活支援員登録者数	32	31	1
実働生活支援員数	26	23	3
専門員による相談援助件数	1,646	2,035	△389
生活支援員による定期援助件数	604	535	69
専門員による臨時援助件数	101	31	70

⑶生活福祉資金貸付事業（決算額　524,000円）

【重点目標】

〇生活福祉資金貸付後の継続的支援

〇償還が滞っている借受人の支援

〇生活福祉資金貸付制度のＰＲ

【主な取組み等】

・資金貸付後の継続的支援については、就労が定着しない借受人に対し、就労定着支援のために東部生活自立支援センターと連携し、月１度の面談を行い職場での仕事内容や人間関係等についても丁寧に相談・助言を行いました。また、就労の定着が見込める借受人に対しては、電話連絡等による相談を行い、無理のない金額で継続的な償還ができるよう相談、指導しました。借受人と連絡が取れない場合は、市など関係機関や民生委員と情報交換を行い、借受人と償還についての協力体制の構築に努めました。

・償還が滞っている借受人の支援については、県社協とも十分相談の上、法的措置も含め今後の対応を検討しました。市社協としても、訪問や連絡を継続し、償還意思を持ってもらえるよう生活状況を把握しながら支援しました。

【相談・貸付実績】　（単位：件・人）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
相談件数	1,354	1,589	△235
貸付件数	59	55	4
借受人数	48	52	△4

⑷生活困窮者自立支援事業（決算額　400,000円）

【重点目標】

〇住民や協力機関の理解促進

〇緊急時の支援体制の強化

【主な取組み等】

・住民や協力機関の理解促進については、月１度の東部生活自立支援センターが実施する支援調整会議にて協力機関(市、ハローワーク、障害者施設等)との情報交換や意見交換を行うとともに、支援調整会議以外でも電話等で情報交換等を行いました。また、既存事業(生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業、ケアネット活動等)を活用し支援を行いました。

・緊急時の支援体制の強化については、生活福祉資金の貸付決定までの食料が無い場合は、現在市役所や県社協の防災訓練での非常食等で対応しているが、今後ＮＰＯ等との連携を視野に入れフードバンクの対応や、就労に必要な連絡手段の確保についても対応を検討することとしました。

【相談実績】　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
相談件数	1,056	9	1,047
紹介件数	5	9	△4

※相談件数は、平成26年度は初回件数を計上したが、27年度は前年度より関わっている件もあるため、延べ件数を計上しました。

⑸法人後見支援事業（決算額　400,000円）

【重点目標】

〇法人後見実施体制の構築

【主な取組み等】

・10月に富山家庭裁判所から法人後見人登録の認定を受けました。認知症や知的障がい、精神障がい等の意思決定が困難な方に対し社協が法人後見人等となって支援を行い、平成27年度末時点での成年後見人としての就任、補助人としての就任が各１件となりました。

・成年後見制度を適切に利用できる仕組みづくりと、市民が成年後見業務の新たな担い手として活動できる支援体制の構築を目的に研修会を開催しました。なお、取組みの推進には行政や専門多職種の理解と協力が不可欠であり、推進委員会の開催等により連携強化に努めました。

＜先進地への視察＞
視察日：平成27年11月20日(金)
視察先：山梨県笛吹市社会福祉協議会
内　容：「成年後見制度に関する潜在的ニーズの把握方法等について」
参加者：３人
＜研修会等の開催＞
平成27年度成年後見セミナー
日　時：平成28年２月８日(月)　13時30分～15時30分
会　場：新川文化ホール　101会議室
内　容：「知って安心！成年後見制度」
講　師：権利擁護センターぱあとなあ富山　柴田　稔　氏
参加者：47人
＜法人後見推進委員会の開催＞
日　時：平成28年１月18日(月)　15時
会　場：社協第１会議室
内　容：①法人後見の実施体制について
②後見開始申立てについて

５ 共同募金事業　（決算額　3,592,288円）

⑴いきいきサロン活動事業（決算額　250,000円）

【重点目標】
○サロン数、サロン参加者の拡大、サロン代表者等の負担軽減のための支援
○サロン活動を通じて地域福祉活動、福祉教育の推進
【主な取組み等】
・年２回サロン代表者研修会を企画し、情報提供や情報交換を図るとともに、サロンで使用するレクリエーション用品の購入・貸出しを行いました。

⑵地区社協活動推進事業（決算額　1,078,000円）

【重点目標】
○各地区の実情に合った地域福祉活動の推進
【主な取組み等】
・地区社協が実施する次の事業への活動助成を行いました。

大　町	「老遊の館」	片　貝	三世代ふれあい事業
村　木	子育てサロンたんぽぽ	加　積	子育てサロン・異世代交流・見守り活動
下中島	地区社協広報	道　下	子育てサロン・異世代交流
上中島	子育てサロン	経　田	三世代交流事業
松　倉	ふれあい訪問	天　神	花鉢・おはぎプレゼント
上野方	野方ふれあい会・軽運動	西布施	三世代ふれあい交流
本　江	三世代ふれあい事業		

⑶福祉でまちづくり活性化事業（決算額　250,000円）

【重点目標】
○イベント等を通して地域住民への福祉意識の啓発
○ボランティア団体や福祉団体、地域振興会等の交流によるネットワークの構築
【主な取組み等】
・買い物等の暮らしの応援が必要な方々も、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、そのような方々を一緒に応援する人を募集・育成することを目的に「くらしのあったか応援隊」養成講座(全５回コース)を開催しました。
・地域住民が体験・交流を通して、福祉・ボランティアの理解を深め福祉意識の啓発と地域を元気にする人材の育成を図ることを目的に、わくわく人生セミナーを開催しました。
【くらしのあったか応援隊養成講座】

日　時	会　場	内　容
第１回 平成27年５月18日(月) 13時30分～15時30分	新川文化ホール 201会議室	「くらしのあったか応援隊」の役割 講義「今、なぜ地域の力が必要なのか」 講師　市地域包括支援ｾﾝﾀｰ予防係長　森山　明　氏

第２回 平成27年５月25日(月) 13時30分～15時30分	新川文化ホール 201会議室	講義「こころのつながりをつくる」 講師　富山国際大学教授　村上　満　氏
第３回 平成27年６月８日(月) 13時30分～15時30分	新川文化ホール 201会議室	実技と話し合い 講師　富山国際大学教授　村上　満　氏 「こころのつながりをつくる」ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ
第４回 平成27年６月30日(火) 12時30分～16時	上市町	現地視察「移動販売を見に行こう」 上市町白萩南部地区社会福祉協議会
第５回 平成27年７月６日(月) 13時30分～15時30分	新川文化ホール 201会議室	講義「買い物代行のコツ」 講師　社協ﾍﾙﾊﾟｰｽﾃｰｼｮﾝ所長　朝野　万里子　氏

【わくわく人生セミナー】

日　時：平成27年12月３日(木)　13時30分～15時30分

会　場：社協第１会議室

内　容：わたしの生き方・暮らし方ノート(エンディングノート)の紹介

参加者：17人

⑷社会福祉大会開催事業（決算額　1,003,852円）

【重点目標】

○大会開催のＰＲとより多くの集客

【主な取組み等】

・第64回魚津市社会福祉大会を市民や福祉関係者等約300人の参加のもと、新川文化ホールで開催しました。多年にわたり社会福祉の発展に貢献された方々の表彰に続き、議事では参加者総意による大会宣言の承認、大会決議を採択し、「誰もが住み慣れた地域で共に安心して暮らせる福祉社会」の実現に向け、努力することを誓いました。大会決議の内容は広報誌、ホームページで公表しました。

日　時：平成27年８月１日(土)　13時30分～16時30分

内　容：表彰　会長表彰(個人17人・１団体)　感謝状(個人31人・１団体)

アトラクション「ハニーオーシャンズとフランダンス」による活動紹介

記念講演　「出会いの人生から学んだこと」　講師：弁護士　菊地　幸夫　氏

⑸広報啓発活動事業（決算額　1,010,436円）

【重点目標】

○読みやすく、親しみやすさのある記事づくり

○多様な広報ツールの活用

○組織経営の透明性の確保と積極的な情報開示

【主な取組み等】

・市社協が市民の皆様に「親しみやすさ」や「身近な存在」として感じていただけるような広報誌の紙面づくりやホームページの内容を工夫しました。特に広報誌では今年度より「うおづのボランティアさん紹介」コーナーを開始し、インタビューや地域の方を紹介することで親しみやすさ、興味関心を促しました。(広報誌は奇数月に各15,600部発行し全戸配布)

・情報開示についてはホームページで、平成26年度事業報告及び決算状況(事業活動収支計算書、貸借対照表等)、平成27年度事業計画及び収支予算を開示し、社会福祉法人現況報告書(毎年４月１日現在で作成)を開示しました。

児童センター拠点 （決算額　82,259,297円）

１ 児童センター管理経営事業（決算額　55,118,292円）

【重点目標】

○一般利用者、中高校生の利用増

【主な取組み等】

・中高校生ボランティアが参加する行事や地域ボランティアが参加する行事、地域関係機関との

協力行事など、参加者増につながるよう魅力ある遊びのプログラムや行事を企画しました。

〈主な行事〉

中高校生ボランティア参加行事	児童センター合同バスハイキング、新川高校生との交流(ひばり) 中高校生とのクッキング(かもめ・つばめ・すずめ)、中学生と科学工作(すずめ)
地域ボランティア参加行事	いきいきサークル(こばと)、昔の遊びに挑戦(かもめ)、公民館でクッキング(かもめ)、読み聞かせ(すずめ)、団子づくり(つばめ)
地域関係機関との協力行事	身障者デイで夏祭り・クリスマス会(こばと)、大町キラキラ七夕まつり(こばと)、大町祭作品出品(こばと)、経田福祉センターへ行こう(かもめ)、公民館でクッキング(つばめ)、百楽荘訪問(つばめ)、みんなのまち交流会～東部デイサービス～(ひばり)、道下公民館で遊ぼう(すずめ)
うおづ児童センターまつり2015	５センター合同による『うおづ児童センターまつり2015』をありそドームで開催し、児童センターの日頃の活動を多くの人に知ってもらう機会を持ちました。 日時：平成27年10月３日(土)10時～13時　来場者数737人(ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ含む)

【利用実績】　(開館日数　各センター294日　単位：人)

区　分		平成27年度	平成26年度	増　減
こばと児童センター		**6,020**	**5,774**	**246**
内訳	小学生	4,493	3,723	770
	中高校生	195	259	△64
	幼児	681	847	△166
	保護者	651	945	△294
かもめ児童センター		**12,993**	**11,260**	**1,733**
内訳	小学生	11,286	9,286	2,000
	中高校生	117	113	4
	幼児	855	827	28
	保護者	735	1,034	△299
つばめ児童センター		**21,882**	**18,657**	**3,225**
内訳	小学生	18,732	16,742	1,990
	中高校生	9	11	△2
	幼児	1,643	998	645
	保護者	1,498	906	592
ひばり児童センター		**15,368**	**17,486**	**△2,118**
内訳	小学生	13,958	15,873	△1,915
	中高校生	151	176	△25
	幼児	646	603	43
	保護者	613	834	△221
すずめ児童センター		**15,592**	**15,990**	**△398**
内訳	小学生	13,162	13,524	△362
	中高校生	22	26	△4
	幼児	1,254	1,153	101
	保護者	1,154	1,287	△133
合　計		**71,855**	**69,167**	**2,688**
内訳	小学生	61,631	59,148	2,483
	中高校生	494	585	△91
	幼児	5,079	4,428	651
	保護者	4,651	5,006	△355

２ 放課後児童健全育成事業（決算額　21,931,105円）

【重点目標】

○保護者、学校等関係機関との連携

○保護者のニーズや要支援児童に対応するための放課後児童支援員の資質向上

【主な取組み等】

・夏休み期間中の早期保育受入れ試行など、保護者ニーズへの柔軟な対応に努めました。

・「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」に基づき、放課後児童支援員認定資格研修(年５回)を修了し、放課後児童支援員としての資質向上につなげました。また、主に初任

者(補助員)に向けた初歩的研修への積極的な参加を促し、今後の支援員の養成につなげることができました。

【利用実績】　（開設日数　各センター293日　単位：人）

区　分	平成27年度		平成26年度		増　減	
	登録人数	利用人数	登録人数	利用人数	登録人数	利用人数
こばと児童センター	13	2,401	10	1,518	3	883
かもめ児童センター	58	7,151	50	5,669	8	1,482
つばめ児童センター	113	16,688	109	15,325	4	1,363
ひばり児童センター	101	12,006	110	14,237	△9	△2,231
すずめ児童センター	82	11,693	90	12,117	△8	△424
合　計	**367**	**49,939**	**369**	**48,866**	**△2**	**1,073**

学期中：放課後～18時　土曜日・長期学校休業中：８時～18時　延長保育：18時～19時

３ 地域子育て支援事業（決算額　5,209,900円）

【重点目標】

〇利用者増のための親子教室活動のＰＲ

【主な取組み等】

・つばめ・ひばり・すずめの３センター合同による「まなびの森音楽祭」や「らくちん親子ビクス」を行い、利用者同士の交流を深めるとともに、ポスター・チラシで活動を周知しました。

・市こども課の子育て支援コーディネーターによる個別相談や、健康センター保健師による健康相談など各種関係機関と連携を取り、子育て支援のニーズに幅広く対応できるよう努めました。

【利用実績】

区　分	平成27年度			平成26年度			増　減		
	回数	幼児（人）	保護者（人）	回数	幼児（人）	保護者（人）	回数	幼児（人）	保護者（人）
こばと児童センター	38	219	198	38	339	308	0	△120	△110
かもめ児童センター	38	183	166	38	200	190	0	△17	△24
つばめ児童センター	114	1,090	993	114	647	554	0	443	439
ひばり児童センター	114	245	219	114	352	348	0	△107	△129
すずめ児童センター	114	923	734	114	713	662	0	210	72
合　計	**418**	**2,660**	**2,310**	**418**	**2,251**	**2,062**	**0**	**409**	**248**

※毎週月曜日：ひろば(つばめ・ひばり・すずめ)　毎週水曜日・金曜日：親子教室
いずれも９時30分～12時30分

障害福祉サービス拠点　（決算額　78,236,749円）

１ 障害者交流センター管理経営事業（決算額　3,990,052円）

【重点目標】

〇利用者ニーズに応じたセンター運営、利用者数の拡大

〇障がい福祉活動の拠点施設として障がい者団体やボランティア等の活動支援

【主な取組み等】

・６月から障がい者(児)が参加できるダンス教室を開催しました。16名が登録し、月２回(第２・第４土曜日　年間19回)練習を行い、ふれあい交流フェスティバルで披露しました。

・５月の「第３回よっしゃこい CHOUROKU まつり」、８月の蝶六街流しに参加しました。

・地域住民から作業所に通う障がい者と交流したいとの希望があり、10月に運動会を開催しました。地域住民等約40人が参加し、楽しい時間を過ごせたと満足の声が多く聞かれました。

・センターを利用する団体数は増加傾向にあり、全体の利用者数は増加しました。

【利用実績】　（単位：団体・人）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
団体数	467	437	30
延利用者数	8,603	8,185	418

２ 障害者地域生活支援事業（決算額　12,048,217円）

⑴障害者相談支援事業（決算額　11,086,217円）

【重点目標】

○一般相談(福祉サービスを利用するための情報提供、相談)

○社会参加するための支援、社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、専門機関の紹介等の強化

○質の高い相談支援体制

【主な取組み等】

・市内の在宅障がい者やその家族に対して、福祉サービスの利用、社会資源の活用についての相談、社会生活力を高めるための情報提供を行いました。また、障害福祉サービスを利用するためのサービス等利用計画書を作成し、定期的にモニタリングを行いました。

・県内の相談支援の研修会に積極的に参加し、質の高い相談支援を提供できるよう努めました。

【相談受付実績】　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
訪　問	204	187	17
来所相談	101	30	71
電話・メール	472	245	227
その他	32	79	△47
合　計	**809**	**541**	**268**

【サービス等利用計画作成実績】　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
延作成件数	91	46	45

⑵障害者ＩＴ推進員派遣事業（決算額　362,000円）

【重点目標】

○障がい者等への事業のＰＲ

○支援ボランティア等の人材育成

【主な取組み等】

・障がい者からの情報機器の利用に関する相談、援助を次の３つの会場で実施しました。ＩＴ技術を習得するだけでなく、障がい者同士の交流や社会参加のきっかけづくりの場として活用しました。

【利用実績等】　（単位：人）

区　分	施設名等	平成27年度	平成26年度	増減
魚津会場	魚津市障害者交流センター ※実施日：毎月第２土曜日　14時～16時	83	78	5
	魚津市身体障害者デイサービスセンター ※実施日：毎月第２木曜日　13時30分～15時 ※平成27年10月で終了	11	29	△18
入善会場	工房あおの丘 ※実施日：毎月第４火曜日　13時～15時	38	78	△40

【障害種別の利用実績】　（単位：人）

区 分	視覚	聴覚	肢体	内部	知的	重複	精神	その他	**合計**
27年度	0	0	17	1	59	0	18	37	**132**
26年度	1	0	36	0	69	3	40	36	**185**
増 減	△1	0	△19	1	△10	△3	△22	1	**△53**

⑶手話奉仕員養成事業（決算額　600,000円）

【重点目標】

○受講者数の拡大

○受講修了者の継続的なボランティア活動への参加

【主な取組み等】

・手話奉仕員養成講座の開催(入門課程)

実施期間：平成27年５月16日～10月２日の毎週金曜日　全20回

受講者数：24人(うち、修了証交付者14人)

・手話奉仕員養成講座の開催(基礎課程)

実施期間：平成27年10月６日～12月22日の毎週火・金曜日　全23回
受講者数：18人(うち、修了証交付者12人)
※入門課程の修了者のうち13人が基礎課程を受講しました。

３ グループホーム大光寺事業（決算額　11,875,219円）

【重点目標】
○利用者一人ひとりの個別支援計画の作成
○定期的なモニタリングの実施
○地域住民の一員として地域に根付いた生活づくり

【主な取組み等】
・知的障がい者の男性６人が入居し、職場や作業所に通いながら一人ひとりが自分のペースで生活しています。個別支援計画に基づき、定期的に関係職員がケース会議を開催し、支援内容の確認を行いながら生活を支援しています。また、地域住民の一員として近隣の方への挨拶、ゴミステーションの清掃やお祭りなどの行事に参加しました。

４ つくし学園管理経営事業（決算額　50,323,261円）

⑴児童発達支援事業(通園部)　定員20名

【重点目標】
○通園部、保育所等訪問支援、障害児相談支援の連携を強化し、利用者のニーズに合わせた質の高いサービスの提供
○発達障がい児への支援のスキルアップ

【主な取組み等】
・園児一人ひとりに質の高い支援を行うために、様々な専門職種が連携して個別支援計画を作成しました。また、個別支援計画を全職員が共有し、一人ひとりの支援目標を達成するために毎日の終礼時のカンファレンスや定期的なケース検討会、支援記録を作成し支援の質の確保に努めました。
・家族が子どもと一緒に活動する行事を増やし、子育ての楽しみを実感できる機会、保護者同士の交流の場の確保に努めました。

＜保護者参加行事＞
水泳教室(年５回)、音楽教室(年５回)、運動会(年１回)、遠足(年１回)
いもほり(年１回)、クリスマス会(年１回)、身障デイ交流会(年１回)

＜保護者交流サロン＞　おしゃべりカフェ(年８回開催)

・職員の質を高めるために研修会等へ積極的に参加するとともに、研修内容の全職員への報告をしっかり行いました。また、園内での職員研修会を定期的に開催し、職員のスキルアップに努めました。

＜園内研修会の実施状況＞
平成27年５月13日(水)　障がい児療育の基本理念
平成27年６月19日(金)　支援者としての基本的姿勢～障がいのある子ども達との関わり方の基本
平成27年７月５日(日)　子どもの発達①～定型発達の子どもたちと支援が必要な子ども達の違い～
平成27年９月７日(月)　子どもの発達②　～支援が必要な子どもへの感覚統合の有効性～
平成28年１月15日(金)　保護者支援の基本的姿勢
平成28年３月３日(木)　子どもの言語発達の理解（発達理解と支援方法）

【利用実績】　（単位：日・人）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
開園日数	240	241	△1
実契約児童数	16	17	△1
延べ利用園児数	3,070	3,676	△606

⑵保育所等訪問支援事業

【重点目標】
○児童のニーズに沿った支援
○保育士へのアドバイスの実施

【主な取組み等】
・支援の方向性を保護者、保育園、保健師など本人に関わる様々な人と共有し、統一した支援を

行いました。また、保護者や保育園との定期的な情報交換に加えて、園児の生活状況等の変化に応じたタイムリーな支援方針を検討しました。
・保育園側の思いや障がい児対応の悩みなどを確認し、実践しやすい支援内容を検討しました。
・保育園での本人の活動参加の様子などを丁寧に伝え、必要な支援(福祉サービス等の利用)へつなげることができました。

【利用実績】　（単位：人・回）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
延べ利用児童数	14	31	△17
延べ利用回数	28	71	△43

⑶障害児相談支援事業

【重点目標】
○ライフステージに応じた切れ目のない支援
○保健、医療、教育、保育などの関係機関との連携の充実

【主な取組み等】
・本人、保護者が望む暮らしや希望を適切に受け止め、質の高いケアマネジメントの実施に努めました。また、それぞれの生活課題やニーズを満たすための新たなサービス利用調整や社会資源の開発を行いました。
・本人のニーズに基づいた支援を行うために地域の関係機関と連携し、事例検討や情報交換等を定期的(月１回)に開催しました。
・相談支援事業所の不足等の地域のニーズに対応するため、地域の小学校等に通学する児童への相談支援を実施しました。

【利用実績】

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
実契約児童数	31	26	5

⑷障害児等療育支援事業（決算額　828,820円）

【重点目標】
○外来訪問による専門的な療育相談、指導
○訪問による療育指導等
○障がい児保育を行う保育所等の職員に対する療育技術の指導

【主な取組み等】
・外来療育等指導(個別療育)
　地域の保育園等に通園する親子に定期的な個別の療育相談を行い、子どもとのかかわり方、支援の仕方について学んでもらいました。
・外来療育等指導(グループ療育：りんご教室の開催)
　地域の保育園等に通園する親子に定期的なグループによる療育相談を行い、子どもとのかかわり方、支援の仕方について学んでもらいました。なお、平成27年度からは０～２歳児の親子活動グループ教室を開催しました。
・訪問療育等指導
　３歳児健診等で支援の支援の必要性を認められた子どもたちへの療育支援を行いました。
　また、新川地域自立支援協議会児童部会の事務局を担い、地域の子育て支援のネットワーク強化と支援の必要な子どもたちへの支援体制の整備を行いました。
・施設支援療育指導
　保育園へ訪問し、発達の気になる子どもたちへのアセスメントや支援の見立てなどを行い、保育園での活動参加方法の検討や必要な相談機関へのつなぎを行いました。

【利用状況】　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
外来療育等指導(個別)	24	60	△36
〃　(グループ)	53	39	14
訪問療育等指導	11	23	△12
施設支援療育指導	35	32	3
合　計	**123**	**154**	**△31**

老人福祉センター拠点 （決算額　41,590,960円）

１ 福祉センター管理経営事業（決算額　29,438,964円）

⑴福祉センター百楽荘管理経営事業（決算額　19,606,770円）

【重点目標】

○年間延利用者数 13,000人

○演芸・娯楽内容の充実

【主な取組み等】

・季節の花や月２回の魚津第二保育園児とのふれあい交流会、第10回福祉センターまつり、敬老のつどい、新年交流会、東部デイサービスセンターやつばめ児童センターとの交流会を開催しました。また、ボランティア団体による演芸や市老人クラブ連合会の活動発表会など、利用者へのサービス向上に努めました。健康麻雀クラブ(毎週火曜日に開催)、入浴目的の新規利用者が増加したことや、介護予防事業の拠点施設となっているため教室参加者も増加しました。

・玄関ホールに季節の人形(干支・ひな人形・兜)や季節の花、パッチワークなどを飾ったり、毎月６日間の日替わり湯を実施し、利用者に喜んでいただけるよう環境整備にも努めました。

【利用実績】　（開館日数 304日 単位：人）

区　分	平成27年度	平成26年度	増 減
一般利用者数	5,277	4,848	429
回数券利用者数	6,954	6,649	305
免除利用者数	762	595	167
合　計	**12,993**	**12,092**	**901**
１日あたり	42.7	39.6	3.1

⑵経田福祉センター管理経営事業（決算額　9,832,194円）

【重点目標】

○年間延利用者数 7,000人

○利用者参加型(歌や踊りなど)の演芸の取組み

○介護予防事業との連携を図り、利用者が関心のある事業の企画

【主な取組み等】

・月１回のニューリバー歌謡ショー、カラオケ友愛会の活動発表(今年度から依頼)、かもめ児童センターとの交流会など利用者へのサービス向上に努めました。地域性もあり利用者が固定化し、病気や怪我、入院などにより利用できなくなるケースもあり利用者が減少しました。

・玄関ホールに季節の花を飾り、また、毎月６日間の日替わり湯の実施など利用者に喜んでいただけるよう環境整備にも努めました。

【利用実績】　（開館日数 305日 単位：人）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
一般利用者数	2,147	2,329	△182
回数券利用者数	2,740	2,886	△146
免除利用者数	1,170	1,136	34
合　計	**6,057**	**6,351**	**△294**
１日あたり	19.9	20.8	△0.9

２ 通所型介護予防事業（決算額　12,151,996円）

⑴通所型介護予防事業（決算額　10,551,218円）

【重点目標】

○「おたっしゃ介護予防教室」のＰＲ

○介護予防の重要性を認識してもらう仕組みづくり

○体操：年間延べ参加人数5,000人　創作教室：年間延べ参加人数5,900人

【主な取組み等】

・体操、創作・趣味教室、認知症予防教室は、参加者の意欲を向上させるような内容を企画しました。創作・趣味教室の作品を展示し、お互いの作品の成果や努力したことを話し、次回の作品への意欲に繋がりました。

・絵手紙教室では、シャトレーゼ魚津店で『絵手紙展』を開催しました。

・年１回のお化粧教室では、お肌のお手入れを実践しながら学び、お茶会では作法や心得を教えていただきました。
・市地域包括支援センターが主催している日本公文教育研究会の教材を使用した「脳まめなけクラブ」も継続される利用者が増えてきました。

【利用実績】　（単位：人）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
バイタル	4,326	4,492	△166
体操・運動・認知症予防レクリエーション	5,014	5,088	△74
創作・趣味・認知予防教室	5,971	5,980	△9
栄養改善教室	811	769	42
合　計	16,122	16,329	△207

⑵通所型介護予防送迎事業（決算額　1,600,778円）

【重点目標】
○利用者数の確保
虎谷・石垣地区：８～９人/１運行　　運行日：火曜日
片貝・加積地区：14～15人/１運行　　運行日：金曜日
西布施地区　　：９～10人/１運行　　運行日：水曜日

【主な取組み等】
・介護予防教室の拠点である福祉センター(百楽荘・経田)への送迎業務を行いました。西布施地区の利用者が能力低下などの理由で減少傾向となりました。
・送迎に支障がない日時は、市内の福祉関係団体が実施する研修会等にバスを貸出し、有効活用しました。また、利用者に乗降場所について意向調査したところ、現在の停留所以外の場所に増設の要望があったことから、市と対応を協議していくこととしました。

【運行実績】　（単位：回・人）

区　分	平成27年度			平成26年度		増　減	
	運行回数	利用者数	１運行	運行回数	利用者数	運行回数	利用者数
虎谷・石垣地区	48	343	7.1	47	312	1	31
片貝・加積地区	50	631	12.6	50	595	0	36
西布施地区	48	370	7.7	49	393	△1	△23
合　計	146	1,344	－	146	1,300	0	44

介護保険サービス拠点　（決算額　383,991,775円）

１　ホームヘルパーステーション事業（決算額　133,509,158円）

【営業日・営業時間】
12月29日～翌年１月３日を除く毎日　　午前７時～午後９時

【重点目標】
○早朝・夜間及び同行援護等のサービスの多様化に対応できる体制の整備
○事業所全体及び職員の質の更なる向上
○サービス利用者増加に伴う人材確保

【主な取組み等】
・多様化するサービスに対応するため、必要な専門技術の習得に努めました。
サービス提供責任者研修　１人参加
同行援護従業者養成研修　３人参加
・研修会への積極的な参加や毎月１回全体ミーティングを開催し、新規利用者やサービス内容変更の確認や研修報告、ヒヤリハットの確認等を検討し職員のスキルアップに努めました。
ホームヘルパー技術向上研修　　４人参加
障害者(児)ホームヘルパー導入研修　２人参加
訪問看護との連携　　２人参加
難病患者等ホームヘルパー導入研修　１人参加
介護技術向上研修　　２人参加
ホームヘルパー協議会ブロック研修　15人参加
・訪問介護における生活援助サービスが増えたことから、パート職員２人増員しました。

【サービス提供実績】

⑴訪問介護　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
身体介護	10,441	10,609	△168
身体介護に引き続き生活援助	1,202	1,350	△148
生活援助	4,932	4,235	697
合　計	**16,575**	**16,194**	**381**

⑵介護予防訪問介護　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
予防Ⅰ～予防Ⅲ	4,096	4,174	△78
合　計	**4,096**	**4,174**	**△78**

⑶障害者等居宅介護　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
身体介護	3,790	3,562	228
家事援助	1,391	2,267	△876
同行援護	167	195	△28
移動支援	389	218	171
合　計	**5,737**	**6,242**	**△505**

⑷生活管理指導員派遣事業（市受託事業）　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
派遣時間（20分以上～45分未満）	117	164	△47
派遣時間（45分以上～70分未満）	175	209	△34
合　計	**292**	**373**	**△81**

⑸私的援助サービス（介護保険等の対象外）　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
身体介護	2	0	2
生活援助	550	483	67
外出援助	103	55	48
受診待ち	267	124	143
合　計	**922**	**662**	**260**
⑴～⑸の合計	**27,622**	**27,645**	**△23**

２　東部デイサービスセンター事業（決算額　125,485,736円）

【営業日・営業時間等】

利用定員35人（内訳：通所介護・介護予防23人、認知症対応型12人）

12月31日～翌年１月３日を除く毎日　午前９時～午後４時

【重点目標】

○要介護、要支援者への積極的サービスの展開

○美味しく食べる

○サービスの質の向上

【主な取組み等】

・利用者のニーズに合わせた通所介護計画、介護予防通所介護計画、認知症対応型通所介護計画を作成し、「転ばない」、「美味しく食べることができる」、「笑顔が増える」をモットーに、利用者やその家族が安心して在宅生活が送れるよう支援しました。また、定期的な内部研修の開催や、認知症介護実践研修や東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会に参加し、サービスの質の向上に努めました。

・「第１回認知症地域公開講座 in 魚津」に職員を講師として派遣し、認知症対応型通所介護の取組みについて講演しました。

日時：平成27年10月23日（金）　14時

場所：にいかわ認知症疾患医療センター

演題：「住み慣れた地域で自分らしく過ごせるために」

【サービス提供実績】

⑴通所介護　（単位：人）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
利用者数	4,542	4,271	271

⑵介護予防通所介護　（単位：人）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
利用者数	1,561	1,817	△256

⑶認知症対応型通所介護　（単位：人）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
利用者数	3,294	3,609	△315
⑴～⑶の合計	**9,397**	**9,697**	**△300**

３　身体障害者デイサービスセンター事業（決算額　66,562,262円）

【営業日・営業時間等】

利用定員20人

日曜日、祝日及び12月29日～翌年１月３日を除く月曜日～土曜日　午前９時～午後４時

【重点目標】

・質の高いサービスの提供
・利用者確保と経費等の節約
・地域社会参加活動の充実

【主な取組み等】

・障がいのある方が、生活改善や健康、身体機能の維持向上を図り、生きがいを持って出来るだけ自立した生活を送れるよう支援しました。今年度はスキルアップを目的とし、計画的に研修参加と勉強会を行った。利用者や家族の要望に応じて柔軟な受け入れや、新規利用者確保に努めている。さらに、個別支援計画に沿って感謝や感動を経験できる活動や支援の充実に努めました。

【サービス提供実績】

⑴身体障がい者デイサービス（市受託事業）　（単位：人）

区分	平成27年度	平成26年度	増　減
利用者数	267	282	△15

⑵通所介護　（単位：人）

区分	平成27年度	平成26年度	増　減
利用者数	1,104	1,064	40

⑶介護予防通所介護　（単位：人）

区分	平成27年度	平成26年度	増　減
利用者数	642	531	111

⑷生活介護（障害者総合支援法）　（単位：人）

区分	平成27年度	平成26年度	増　減
利用者数	2,976	2,948	28
⑴～⑷の合計	**4,989**	**4,825**	**164**

４ 居宅介護支援事業（決算額　58,434,619円）

【営業日・営業時間】

祝日及び12月29日～翌年１月３日を除く月曜日～金曜日　　午前８時30分～午後５時30分

【重点目標】

○質の高いケアマネジメントの提供
○効率的な業務と安定した経営

【主な取組み等】

・利用者本人の尊厳保持や自立支援を重視し、公正・中立・誠実なサービスの情報提供や適切な

ケアマネジメントを行い、良質なサービスの提供に努めることができました。また、知識や技術の研鑽のため各種研修会に積極的に参加しました。

なお、平成26年度に引き続き要介護３～５の利用者が減り、要介護１・２の利用者が増えましたが、介護報酬の見直しにより安定した経営を維持することができました。

＜研修会への参加状況＞

平成27年10月22日(木)	在宅医療・介護推進研修	３人参加
平成27年11月５日(木)	働く看護・福祉職のストレスケア	２人参加
平成27年12月８日(火)	地域ケア会議	４人参加
平成28年１月30日(土)	事業所が取り組むがん患者への対応支援	２人参加
平成28年２月４日(木)	看取りの基礎や姿勢について	２人参加
平成28年２月18日(木)	より良いケアマネジメント	４人参加

【ケアプラン作成実績】　（単位：件）

区　分	平成27年度	平成26年度	増　減
要介護１・２	1,756	1,458	298
要介護３～５	799	918	△119
合　計	**2,555**	**2,376**	**179**